

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立西南部小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	21.0	40.0	30.0	9.0	
問2	英語科の勉強は大切だ。	62.0	29.0	6.0	3.0	
問3	英語科の授業の内容が分かる。	47.0	42.0	9.0	2.0	
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	22.0	52.0	20.0	6.0	
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	30.0	45.0	17.0	8.0	
問6	アルファベットの大文字が書ける。	71.0	24.0	5.0	0.0	
問7	アルファベットの小文字が書ける。	77.0	20.0	3.0	0.0	
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	43.0	43.0	11.0	3.0	
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	25.0	44.0	27.0	4.0	

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	74.0	16.7	7.6	1.3	0.4
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	69.7	19.3	8.9	1.5	0.6
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	72.2	19.3	6.1	2.2	0.2

②指導改善の具体策

【英語科】 ・児童相互が関わる活動を積極的に取り入れ、英語で交流する楽しさを感じる機会を増やす。 ・学習内容を具体的に提示し、ふり返りを充実させることで、何を学んだかを明確にする。 ・児童が学んだ英語表現を活用できるように、外国の方と交流できる機会や場面を設定する。 【デジタル科】 ・今後も継続して1人1台端末を授業で活用していく。 ・デジタルシティズンシップ教育を充実させ、ICTを上手に活用できるようにする。

③学校関係者評価

<英語科> ・小学校の発育段階では「楽しい」と感じられる授業が良い。遊びの中で自然と身に付けていくことが理想である。 ・外国の方と触れ合うことは、英語の学習意欲の向上につながる。地域にも外国人や英語を話せる日本人がいるので、学校サポーターや学校ボランティアとして、協力を得ることはできるのではないか。 <デジタル科> ・SNSを介した問題は、学校の範疇を超える部分がたくさんある。育友会の協力の元、注意喚起をしたり、ルールを示したりする必要がある。 ・制限よりも「なぜダメなのか」「どう使っていけばいいのか」を理解させていく必要がある。
